

自然と文化科 シニア自然観察会 活動記録

日時	2019年12月19日（木） 13:20~15:10	担当者
場所	大阪市立長居植物園（大阪市東住吉区長居公園 1-23）	文・写真： 岩城 正大
備考	大阪市立平野区老人福祉センター 参加者11名+職員2名 OG 職員 2名 自然と文化科 スタッフ6名	

当初のシニア自然観察会は10月15日実施の予定だったが、祝日の翌日は長居植物園が休園であることから10月29日に変更した。その後、先方のお客様の都合で再変更して12月19日の実施となった。季節が初冬になったためか、当初の30名の参加者が13名に激減したのでリーダー3名とスタッフ3名の計6名で対応し、3班体制で実施した。

少し寂しいシニア自然観察会となったが、11月下旬の気温で過ごしやすく、観察会が始まるとシャリンバイとトベラを見比べたり、ライラックの台木のイボタノキの説明や、見頃のツバキとサザンカの違いなどに耳を傾けていた。途中で足の不十分な方1名が班行動から少し遅れ気味になったが、西村さんの機転で別行動で引率してもらった。後半は黄色く完熟した大きな実のオオミレモンに足を止めたり、満開のフジバカマやジュウガツザクラの初冬の花に感動していた。

参加者の集合が早かったので、観察スタートを少し早めたにも係わらず予定より10分オーバーして終了。今回は少人数でゆっくり観察でき、リーダーの丁寧な案内に皆さん満足していただけたことが一口メモから窺える。今回の一番の反省点は、お客様に配布した観察資料の写真にミスがあったこと、今後十分に注意したい。また、開催場所は次回から久宝寺緑地で実施してほしい旨の要望がセンター職員からあった。



堀川 班



星田 班



古荘 班

